

令和5年度 第4回白鳥中学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和5年10月26日(木) 10:00~11:30

2 場 所 会議室 文化祭展示場

3 協議事項

(1) 生徒会活動について(生徒会担当から)

①いじめ防止の活動

- ・今年度は、ピンクシール運動をおこなった。シールを自分の名札にシールを貼り、みんなが取り組める形にした。シールをまとめて掲示し、「いじめを許さない」意思を確認した。

②校則の見直し

- ・夏の熱中症を考慮して、体操シャツを入れなくてよいように、校則を見直した。今後も検討を続けていく。

③体育祭や文化祭

- ・体育祭では、運動が苦手な生徒も参加しやすい(楽しめる)競技を提案した。
- ・文化祭では、校内の活動だけでなく、自分の好きなものを展示する取組を行い、多様な生徒の姿がみえるようにした。

《委員からの意見など》

- ・市内統一制服については、時代に逆行しているのではないかと。学校の色を出してもいいのではないだろうか。「そもそも制服があるのか」などの議論が必要ではないかと思う。様々なことについて、議論していくことは重要だと思う。
- ・制服の回収ボックスの取り組みはとても良いと感じている。もっと、回収の取り組みを大々的に紹介してくるとよい。入学前にお知らせし、選択肢の一つとして考えられるようにすべきだと思う。
- ・生徒のアンケートで、校則の見直しに不要と答えた生徒多い。これは、満足しているのか、関心がないのか、どちらなのだろうか疑問に思った。  
→想定したよりも、少なかった。「変えなくてもいいのではないか」かと思っている生徒が多いと思う。

(2) 文化祭を参観して

- ・学校に入る機会がないので、様々な場所に展示があることで、学校施設をみながら子どもたちの姿を想像しながら回れてよかった。
- ・みんなで一緒に回ることができて、安心・共有があってよかった。
- ・高校でも文化祭をするが、厳選して展示数を絞っている。中学校のように、もっと日常がわかるような展示をたくさんしてもよいと感じた。修学旅行新聞は興味深かった。
- ・展示作品をみながら、ほかの委員さんと会話しながら、見るのができてよかった。
- ・生徒の個性が出ている。見ていて楽しい。生徒の個性を感じた。
- ・子どもがそれぞれで考え、まとめている。自分自身を見つめていく作品になっているのではないのでしょうか。美術の作品から、時代を反映していると感じた。